

## 1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容					
1	作 成 単 位	同一料金月、同一支払期限でお客さま単位（会社コード単位）					
2	フォーマット形式	3. 5 インチ F D				C D - R	M O
		2 H D		2 D D			
		1. 25MB	1. 44MB	640KB	720KB	650MB	128MB
3	標準最大出力件数 （圧縮希望時）	1, 800 レコード <sup>*</sup> (14, 400)	2, 200 レコード <sup>*</sup> (17, 600)	1, 000 レコード <sup>*</sup> (8, 000)	1, 000 レコード <sup>*</sup> (8, 000)	—	—
4	使 用 コ ー ド	J I S 漢字コード：シフト J I S					
5	レ コ ー ド 長	可変長（復帰改行コードが追加されます）					
6	フ ァ イ ル 形 式	テキスト形式・項目名付 C S V (1 枚に収容しきれない場合は、同一ファイル名で複数枚作成します)					

注：「項目名付CSV形式」とは、レコードの先頭に項目名のみの項目名レコードを編集し、その後ろにデータレコードを編集する形式です。

レコードの編集形式は、以下のとおりとなっています。

- (1) 項目と項目の間をカンマ（,）で区切ります。
- (2) 1レコードの最終項目編集後、復帰改行（C R L F）を付加します。
- (3) 数値項目（件数・金額等）以外の場合は、そのデータをダブルクォート（" "）で囲みます。  
（例："A B C D"）
- (4) 数値項目（件数・金額）以外の場合で、データが省略されている場合は半角のスペースを編集し、ダブルクォートで囲みます。（例：" "）
- (5) 数値項目の場合は、有効数字のみ編集します。  
※有効数字の編集に伴い、仕様書上の桁数と異なる場合があります。
- (6) 数値項目の場合で、データが省略されている場合は、半角のゼロのみ編集します。  
（例：..., 0, ...）
- (7) 標準最大出力件数は、記録媒体への収容方法により変動します。

## &lt;圧縮について&gt;

お客様提供データの圧縮希望時はフリーソフトウェアの「高圧縮書庫管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

圧縮したデータの解凍手順…①パソコンのハードディスクにデータを落とし込む。

②ファイルを実行する。

以上で圧縮したデータが自動的に解凍されます。

## 2. ファイル仕様

### (1) 作成するファイル

ファイル名称	ファイル名
管理ファイル	N O O O O O 0 1 . C S V
OCN番号別内訳ファイル	N O O O O O 1 1 . C S V
請求書作成番号合計ファイル	N O O O O O 5 1 . C S V
会社合計ファイル	N O O O O O 9 1 . C S V

注1：記録媒体2枚以上にまたがるファイルは、OCN番号別内訳ファイルのみです。

注2：作成するファイル名の構成

N   O O O O O   x x   .   C S V  
 \*1   \*2                \*3                \*4

- \*1 「N」：OCNサービス番号別明細内訳書の表示
- \*2 弊社が付与するお客さま識別コード（数字5桁）
- \*3 x x：データ種類（圧縮の場合は記録媒体作成通番01～99）
- \*4 CSV：ファイル拡張子（圧縮の場合は「exe」）

※圧縮の場合は、xxに記録媒体作成通番01～99、ファイル拡張子「exe」のファイルを作成しますが、自動解凍後に上記のとりのファイルになります。

※圧縮ファイルが複数枚となった場合に同じフォルダ内で解凍すると、OCN番号別内訳ファイルは1枚目からN枚目が全て同じファイル名で解凍されますので、後から解凍したファイルで上書きされます。複数枚になった場合は、フォルダを変えて解凍して下さい。

### (2) 収容方法

#### ① 1枚目

管理ファイル、請求書作成番号合計ファイル、会社合計ファイルを収容してから、OCN番号別内訳ファイルを収容件数が、最大出力件数（記録媒体のフォーマット形式毎に定めた、記録媒体に収容可能な最大件数）になるまで収容します。

#### ② 2枚目以降

1枚目に収容しきれなかった場合、残りのOCN番号別内訳ファイルを2枚目以降の記録媒体に順次収容します。最大99枚まで収容可能です。

※項目名レコードについては、作成しません。

(3) ファイル構成

●管理ファイル

--

●OCN番号別内訳ファイル（OCN番号別の内訳レコードで構成）

OCN 番号別内 訳レ コード 1番 目	OCN 番号別内 訳レ コード2 1番 目	~	OCN 番号別内 訳レ コード2 N番 目	OCN 番号別内 訳レ コード 1番 目	OCN 番号別内 訳レ コード2 1番 目	~	OCN 番号別内 訳レ コード2 N番 目	~	OCN 番号別内 訳レ コード 1番 目	OCN 番号別内 訳レ コード2 1番 目	~	OCN 番号別内 訳レ コード2 N番 目
OCN番号1番目				OCN番号2番目				OCN番号N番目				

1. 同一番号の情報が、「OCN番号別内訳レコード」に収まらない時、オーバー分を「OCN番号別内訳レコード2」として格納する。
2. 又、「OCN番号別内訳レコード2」は複数レコード存在する場合があり、「OCN番号別内訳レコード」から「レコードNO」をシーケンスで付与する。
3. 請求書作成単位合計レコードも上記と同様の構成となる。

●請求書作成番号合計ファイル（請求書作成番号別の内訳レコードで構成）

請求書 作成番号 合計レ コード 1番 目	請求書 作成番号 合計レ コード2 1番 目	~	請求書 作成番号 合計レ コード2 N番 目	請求書 作成番号 合計レ コード 1番 目	請求書 作成番号 合計レ コード2 1番 目	~	請求書 作成番号 合計レ コード2 N番 目	~	請求書 作成番号 合計レ コード 1番 目	請求書 作成番号 合計レ コード2 1番 目	~	請求書 作成番号 合計レ コード2 N番 目
請求書作成番号1番目				請求書作成番号2番目				請求書作成番号N番目				

●会社合計ファイル

--

## 3. レコードフォーマット

各ファイルのレコード形式

## (1) 管理レコード

会社コード	データ種類	年月群	媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群
5	2	7	2	8	3	1	1

## (2) OCN番号別内訳レコード

OCN番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	OCNサービス 種別	ご利用期間 基本料等初日	ご利用期間 基本料等末日	OCN 通信料等初日	OCN 通信料等末日	検針日前回	検針日今回	予備
10	1	2	2	2	10	6	8	36	4	4	4	4	4	4	10

OCN 通信料・今月分	ご請求金額	請求内訳 1								請求内訳 2、請求内訳 16	請求内訳 17※								年月群
		利用会社 1	内訳コード 1	請求内訳コード 1	請求内訳名 1	再掲表示 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用会社 17	内訳コード 17	請求内訳コード 17	請求内訳名 17	再掲表示 17	内訳金額 17	残回数 17	税区分 17	
10	10	30	3	4	36	6	10	3	20	1680	30	3	4	36	6	10	3	20	7

※ 請求内訳は、1レコード最大17内訳まで収容します。同一OCN番号で18内訳以上の請求内訳がある場合、18内訳目以降は第2レコード（OCN番号別内訳レコード2）以降に収容します。

## (3) OCN番号別内訳レコード2

OCN番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	OCNサービス 種別	ご利用期間 基本料等初日	ご利用期間 基本料等末日	OCN 通信料等初日	OCN 通信料等末日	検針日前回	検針日今回	予備
10	1	2	2	2	10	6	8	36	4	4	4	4	4	4	10

OCN通信料・今月分	ご請求金額	請求内訳1								請求内訳2、請求内訳16	請求内訳17※								年月群
		利用会社1	内訳コード1	請求内訳コード1	請求内訳名1	再掲表示1	内訳金額1	残回数1	税区分1		利用会社17	内訳コード17	請求内訳コード17	請求内訳名17	再掲表示17	内訳金額17	残回数17	税区分17	
10	10	30	3	4	36	6	10	3	20	1680	30	3	4	36	6	10	3	20	7

※ 同一OCN番号で、請求内訳数が35内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については、第2レコードと同一内容となります。

## (4) 請求書作成番号合計レコード

ご請求番号	データ種類	レコードNO	レコード数	部課別コード	ご利用期間 基本料等初日	ご利用期間 基本料等末日	OCN 通信料等初日	OCN 通信料等末日	検針日前回	検針日今回	予備	OCN通信料 ・今月分	請求額合計金額	請求件数	金融機関コード	口座番号
10	2	2	2	6	4	4	4	4	4	4	10	10	10	8	7	8

口座名義	送付先名	請求内訳 1								請求内訳 2 請求内訳 16	請求内訳 17								年月群
		利用会社 1	内訳コード 1	請求内訳コード 1	請求内訳名 1	再掲表示 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用会社 17	内訳コード 17	請求内訳コード 17	請求内訳名 17	再掲表示 17	内訳金額 17	残回数 17	税区分 17	
40	40	30	3	4	36	6	10	3	20	1680	30	3	4	36	6	10	3	20	7

(5) 請求書作成番号合計レコード2

ご請求番号	データ種類	レコードNO	レコード数	部課別コード	ご利用期間 基本料等初日	ご利用期間 基本料等末日	OCN 通信料等初日	OCN 通信料等末日	検針日前回	検針日今回	予備	OCN通信料 ・今月分	請求額合計金額	請求件数	金融機関コード	口座番号
10	2	2	2	6	4	4	4	4	4	4	10	10	10	8	7	8

口座名義	送付先名	請求内訳 1								請求内訳 2、請求内訳 16	請求内訳 1 7 ※								年月群
		利用会社 1	内訳コード 1	請求内訳コード 1	請求内訳名 1	再掲表示 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用会社 17	内訳コード 17	請求内訳コード 17	請求内訳名 17	再掲表示 17	内訳金額 17	残回数 17	税区分 17	
40	40	30	3	4	36	6	10	3	20	1680	30	3	4	36	6	10	3	20	7

※ 同一請求番号で、請求内訳数が18内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については、第2レコードと同一となります。

(6) 会社合計レコード

会社コード	データ種類	会社合計請求額	会社合計請求件数	年月群
5	2	12	8	7

## 4. レコード内容

## (1) 管理レコード

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：“30009”
2	デ ー タ 種 類	文字	2	”01”を設定
3	年 月 群	文字	7	請求年月群を設定 (コード表「項番5、料金群・詳細群」参照)
4	媒 体 通 番	文字	2	”01”固定
5	網 種 別	文字	8	”OCN”を設定
6	媒 体 識 別	文字	3	出力媒体を設定 FD … ”FD” MO … ”MO” CD-R … ”CDR” ビリングステーション（注1）をご契約の場合…”BS”
7	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で、同一月内に請求書発行した回数 (料金群変更時等) ※ 再発行は対象外 ※ 回数は0から起算
8	詳 細 群	文字	1	詳細群を”A”～”V”、 ”0” ”1”～”9”で設定 (コード表「項番5、料金群・詳細群」参照)

（注1）：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。



## (2) OCN番号別内訳レコード

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	OCN 番 号	文字	10	OCN番号を設定（英数字混在での設定あり） 例：“N991234567”
2	定 期 分 割 区 分	文字	1	”0”を設定
3	デ ー タ 種 類	文字	2	”11”を設定
4	レ コ ー ド N O	文字	2	同一OCN番号でのレコードNoを設定
5	レ コ ー ド 数	文字	2	同一OCN番号でのレコード数を設定
6	ご 請 求 番 号	文字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：“0001234567”
7	部 課 別 コ ー ド	文字	6	お客様がご契約番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合：“000001”～”999999” 設定なしの場合：“000000”設定
8	減 算 不 能 区 分	文字	8	”通常” または ”減算不能” ※減算不能（次の①または②の場合） ①ご請求額よりお返しする金額の方が多い場合 ②ご請求額が0円の場合 詳細は、コード表「項番1、減算不能区分コード」参照
9	OCN サービス 種 別	文字	36	当該OCN番号でご利用OCNサービス種類を設定 コード表「項番6、非電話サービス種別」参照
10	ご利用期間基本料等初日	文字	4	利用期間の初日および末日を出力 例：初日10月 1日 → ”1001” 末日10月31日 → ”1031”
11	ご利用期間基本料等末日	文字	4	
12	OCN 通 信 料 等 初 日	文字	4	
13	OCN 通 信 料 等 末 日	文字	4	
14	検 針 日 前 回	文字	4	オールゼロを設定
15	検 針 日 今 回	文字	4	オールゼロを設定
16	予 備	文字	10	
17	OCN 通 信 料 ・ 今 月 分	数字	10	今月分のOCN通信料を設定
18	ご 請 求 金 額	数字	10	当該OCN番号でのご請求金額 例： 5, 250円(プラス金額)の場合 → 5250 例： -1, 000円(マイナス金額)の場合 → -1000

次項へ続く

## (2) OCN番号別内訳レコードの続き

項番	項目名	区分	桁数	内 容
19	利 用 会 社 1	文字	30	ご利用の会社名を表示 例：“NTTコミュニケーションズ”等
	内 訳 コ ー ド 1	文字	3	内訳コード（3桁）を設定 （コード表「項番7、請求内訳コード」参照）
	請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	請求内訳コード（4桁）を設定 （コード表「項番7、請求内訳コード」参照）
	請 求 内 訳 名 1	文字	36	請求内訳名を設定
	再 掲 表 示 1	文字	6	スペースを設定
	内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 例：-1,000円（マイナス金額）の場合 → -1000
	残 回 数 1	文字	3	スペースを設定
	税 区 分 1	文字	20	（コード表「項番4、税区分コード」参照）
20	請求内訳2～16			2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合の編集方法は、「項番1 媒体作成条件」参照  （請求内訳は最大17内訳までを本レコードに編集し、17内訳を超える場合は「(3) OCN番号別内訳レコード2」に編集）
21	利 用 会 社 17	文字	30	
	内 訳 コ ー ド 17	文字	3	
	請 求 内 訳 コ ー ド 17	文字	4	
	請 求 内 訳 名 17	文字	36	
	再 掲 表 示 17	文字	6	
	内 訳 金 額 17	数字	10	
	残 回 数 17	文字	3	
	税 区 分 17	文字	20	
22	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6 例：2001年8月C群 → “2001083”

## (3) OCN番号別内訳レコード2

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	OCN番号	文字	10	OCN番号を設定
2	定期分割区分	文字	1	"0"を設定
3	データー種類	文字	2	"11"を設定
4	レコードNo	文字	2	同一OCN番号でのレコードNo.を設定 "02"～"99"
5	レコード数	文字	2	同一OCN番号でのレコード数を設定 "02"～"99"
6	ご請求番号	文字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例："0001234567"
7	部課別コード	文字	6	お客様がご契約番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合："000001"～"999999"を設定 設定なしの場合："000000"を設定
8	減算不能区分	文字	8	スペースを設定
9	OCNサービス種別	文字	36	スペースを設定
10	ご利用期間基本料等初日	文字	4	スペースを設定
11	ご利用期間基本料等末日	文字	4	スペースを設定
12	OCN通信料等初日	文字	4	スペースを設定
13	OCN通信料等末日	文字	4	スペースを設定
14	検針日前回	文字	4	スペースを設定
15	検針日今回	文字	4	スペースを設定
16	予備	文字	10	スペースを設定
17	OCN通信料・今月分	数字	10	ゼロを設定
18	ご請求金額	数字	10	ゼロを設定

次項へ続く

## (3) OCN番号別内訳レコード2の続き

項番	項目名	区分	桁数	内 容
19	利 用 会 社 1	文字	30	ご利用の会社名を表示 例：“NTTコミュニケーションズ”等
	内 訳 コ ー ド 1	文字	3	内訳コード（3桁）を設定 （コード表「項番7、請求内訳コード」参照）
	請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	請求内訳コード（4桁）を設定 （コード表「項番7、請求内訳コード」参照）
	請 求 内 訳 名 1	文字	36	請求内訳名を設定
	再 掲 表 示 1	文字	6	スペースを設定
	内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 例：-1,000円（マイナス金額）の場合 → -1000
	残 回 数 1	文字	3	スペースを設定
	税 区 分 1	文字	20	（コード表「項番4、税区分コード」参照）
20	請求内訳2～16			2個目以降の請求内訳を示し内訳が存在しない場合の編集方法は、「項番1 媒体作成条件」参照  （請求内訳は、最大17内訳までを本レコードに編集し、17内訳を超える場合は「OCN番号別内訳レコード2」[第3レコード以降（レコードNO“3”以降）]に編集）
21	利 用 会 社 17	文字	30	
	内 訳 コ ー ド 17	文字	3	
	請 求 内 訳 コ ー ド 17	文字	4	
	請 求 内 訳 名 17	文字	36	
	再 掲 表 示 17	文字	6	
	内 訳 金 額 17	数字	10	
	残 回 数 17	文字	3	
	税 区 分 17	文字	20	
22	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6 例：2001年8月C群 → “2001083”

## (4) 請求書作成番号合計レコード

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号	文字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例: "0001234567"
2	デ ー タ 種 類	文字	2	"51"を設定
3	レ コ ー ド N O	文字	2	同一請求番号でのレコードNoを設定
4	レ コ ー ド 数	文字	2	同一請求番号でのレコード数を設定
5	部 課 別 コ ー ド	文字	6	オールゼロを設定
6	ご利用期間基本料等初日	文字	4	基本料の利用期間の初日(開始)を設定 例: 2月1日 → "0201"
7	ご利用期間基本料等末日	文字	4	基本料の利用期間の末日(締切)を設定 例: 2月29日 → "0229"
8	OCN通信料等初日	文字	4	OCN通信料等の利用期間初日(開始)を設定 例: 2月1日 → "0201"
9	OCN通信料等末日	文字	4	OCN通信料等の利用期間の末日(締切)を設定 例: 2月29日 → "0229"
10	検 針 日 前 回	文字	4	オールゼロを設定
11	検 針 日 今 回	文字	4	オールゼロを設定
12	予 備	文字	10	
13	OCN通信料・今月分	数字	10	請求書作成単位の今月分OCN通信料合計を設定
14	請 求 額 合 計 金 額	数字	10	請求書作成単位の請求金額を設定
15	請 求 件 数	数字	8	請求書作成単位のOCN番号数を設定
16	金 融 機 関 コ ー ド	文字	7	口座振替の場合、金融機関コードを設定 上記以外は、スペースを設定
17	口 座 番 号	文字	8	口座振替の場合、口座番号を設定 上記以外は、スペースを設定
18	口 座 名 義	文字	40	口座振替の場合、口座名義を設定 上記以外は、スペースを設定
19	送 付 先 名	文字	40	請求書送付先の氏名(半角カナ)を設定

次項へ続く

## (4) 請求書作成番号合計レコードの続き

項番	項目名	区分	桁数	内 容
20	利 用 会 社 1	文字	30	スペースを設定
	内 訳 コ ー ド 1	文字	3	スペースを設定
	請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	スペースを設定
	請 求 内 訳 名 1	文字	36	スペースを設定
	再 掲 表 示 1	文字	6	スペースを設定
	内 訳 金 額 1	数字	10	ゼロを設定
	残 回 数 1	文字	3	スペースを設定
	税 区 分 1	文字	20	スペースを設定
21	請求内訳2～16			
22	利 用 会 社 17	文字	30	スペースを設定
	内 訳 コ ー ド 17	文字	3	スペースを設定
	請 求 内 訳 コ ー ド 17	文字	4	スペースを設定
	請 求 内 訳 名 17	文字	36	スペースを設定
	再 掲 表 示 17	文字	6	スペースを設定
	内 訳 金 額 17	数字	10	ゼロを設定
	残 回 数 17	文字	3	スペースを設定
	税 区 分 17	文字	20	スペースを設定
23	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6 例：2001年8月C群 → "2001083"

## (5) 請求書作成番号合計レコード2

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号	文字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例: "0001234567"
2	デ ー タ 種 類	文字	2	"51"を設定
3	レ コ ー ド N O	文字	2	同一請求書作成番号でのレコードNoを設定
4	レ コ ー ド 数	文字	2	同一請求書作成番号でのレコード数を設定
5	部 課 別 コ ー ド	文字	6	オールゼロを設定
6	ご利用期間基本料等初日	文字	4	スペースを設定
7	ご利用期間基本料等末日	文字	4	スペースを設定
8	O C N 通 信 料 等 初 日	文字	4	スペースを設定
9	O C N 通 信 料 等 末 日	文字	4	スペースを設定
10	検 針 日 前 回	文字	4	スペースを設定
11	検 針 日 今 回	文字	4	スペースを設定
12	予 備	文字	10	
13	O C N 通 信 料 ・ 今 月 分	数字	10	ゼロを設定
14	請 求 額 合 計 金 額	数字	10	ゼロを設定
15	請 求 件 数	数字	8	ゼロを設定
16	金 融 機 関 コ ー ド	文字	7	スペースを設定
17	口 座 番 号	文字	8	スペースを設定
18	口 座 名 義	文字	40	スペースを設定
19	送 付 先 名	文字	40	スペースを設定

次項へ続く

## (5) 請求書作成番号合計レコード2の続き

項番	項目名	区分	桁数	内 容
20	利 用 会 社 1	文字	30	ご利用の会社名を表示 例：“NTTコミュニケーションズ”等
	内 訳 コ ー ド 1	文字	3	内訳コード（3桁）を設定 （コード表「項番7、請求内訳コード」参照）
	請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	請求内訳コード（4桁）を設定 （コード表「項番7、請求内訳コード」参照）
	請 求 内 訳 名 1	文字	36	請求内訳名を設定
	再 掲 表 示 1	文字	6	スペースを設定
	内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 例：-1,000円（マイナス金額）の場合 → -1000
	残 回 数 1	文字	3	スペースを設定
	税 区 分 1	文字	20	（コード表「項番4、税区分コード」参照）
22	請求内訳2～16			2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合の編集方法は、「項番1 媒体作成条件」参照  （請求内訳は最大17内訳までを本レコードに編集し、17内訳を超える場合は第3レコード以降（レコードNO“3”以降）に編集）
23	利 用 会 社 17	文字	30	
	内 訳 コ ー ド 17	文字	3	
	請 求 内 訳 コ ー ド 17	文字	4	
	請 求 内 訳 名 17	文字	36	
	再 掲 表 示 17	文字	6	
	内 訳 金 額 17	数字	10	
	残 回 数 17	文字	3	
	税 区 分 17	文字	20	
24	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01～12、群は1～6 例：2001年8月C群 → “2001083”



## (6) 会社合計レコード

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	文字	5	お客様を識別するコード(5桁)を設定 例: "30009"
2	デ ー タ 種 類	文字	2	"91"を設定
3	会 社 合 計 請 求 額	数字	12	請求金額の総合計(会社コード単位)を設定
4	会 社 合 計 請 求 件 数	数字	8	OCN番号数の総合計(会社コード単位)を設定
5	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は01~12、群は1~6 例: 2000年3月C群 → "2000033"